

行ってみよう！ 有機農業公園

体験 探検 有機農業テーマパークを身近なものに

2017 年 4 月、再び足立区都市農業公園（東京都）の事業開始

日本有機農業研究会 有機農業サポート委員会



写真・平島芳香

大都市東京の荒川河川敷に沿って、足立区民が四季の移り変わりを楽しむ広大な「足立区都市農業公園」があります。その中に、田んぼ 12 アール、畑 20 アール、果樹園（梅 5 アール）の有機農業による管理指導を同区からの委託により始めたのは 2004 年。豊かな自然環境と田畑が戻ってきました。

そして昨 2017 年 4 月 1 日から、足立区の指定管理者制度のもとで、指定管理者「体験型有機農業パークマネジメント」（株）自然教育研究センターと東武緑地（株）の 2 社の共同体）に本会が協力する形で、5 年間の事業がはじまりました。

公園には、研修会・会議ができる建物、古民家、レストラン「キッチン とれたて」などもあり、田畑での体験教室だけでなく、試食会、研修会、野菜の直売などもできます。生産者スタッフ 12 名、消費者スタッフアシスタント 19 名によりさまざまな活動が繰り上げられる予定です。

9 月 1 日（金）には、夏のシンポジウム 2017 の一環として、「自然と遊ぶ、自然を学ぶ、自然と共に生きる」を開催、有機野菜収穫体験や楽しい道具を使っの農作業、そしてオーガニック野菜試食会がにぎやかに開かれました。

1 月 27 日（土）には、一年でも一番寒い季節ですが、冬ならではの畑のようすを見学し、自然の息吹を感じてみよう、と、「探検！ 冬の有機公園 都市農ツアー第 1 弾 冬の畑編」を開催しました。

これからも多彩な活動を企画、ぜひ、おでかけください。

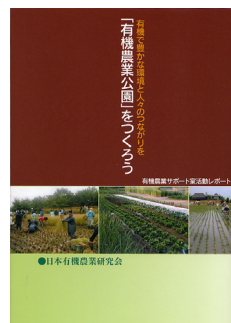
足立区都市農業公園

〒123-0864 東京都足立区鹿浜 2-44-1 TEL 03-3853-4114 定休日 毎月第 1・3 水曜日、年末年始
アクセス 東武スカイツリーライン「西新井駅」東口（コミュニティバスはるかぜ）または西口（東武バス）より「鹿浜都市農業公園行」終点下車／JR「赤羽駅」より国際興業バス「荒川大橋経由西新井駅行」鹿浜五丁目下車徒歩 5 分／駐車場併設（有料）

関連本

『有機農業公園をつくろう』日本有機農業研究会編集・発行 1000 円

本書は 2004 年から 2014 年までの足立区都市農業公園（東京都）での田畑・果樹園の有機農業管理（日本有機農業研究会受託事業）のようすを報告したものです。有機への田畑・果樹園の転換のようす、有機農業によって豊かな環境と人々のつながりが生まれていることが伝わってきます。



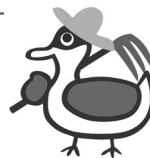
■基本情報 足立区都市農業公園（東京都足立区鹿浜 2-44-1）

指定管理者：体験型有機農業パークマネジメント

{ 株式会社自然教育研究センター

{ 東武緑地株式会社 → 日本有機農業研究会（農業従事者・農業アシスタント）

足立区都市農業公園
キャラクター
「かもまる」



畑約 3600㎡、田んぼ約 1400㎡、梅林約 750㎡を管理

筆者は農業アシスタントの立場ですが、「ど」が付かない程度の素人です!! 提携消費者目線で写真を中心に園内の畑作業と出来事をお伝えします。

【一日の流れ】 ☆今回の写真は 10/6 の作業です

- 9:10 ミーティング
当日の作業確認～作業開始
- 12:00 昼食
- 13:00 午後の作業開始
- 16:00 アシスタント作業終了
- 17:30 農業従事者作業終了



作業場で朝のミーティング

←茨城県在来種の大豆「青御前」の収穫。青御前の特徴を熱く語る魚住道郎理事長。



台風 24・25 号の影響により、一般参加者イベントの稲刈り 9/30・10/6 分が中止になり、急きょ農作業スタッフだけの稲刈り作業に。

子ども達の稲刈り風景を楽しみにされている来園者も多く、その点今回は地味な作業風景でしたが、それでも来園者の方々には好評でした。



実践作業を通じ、ベテランから若手へ農業技術が伝承されると同時に、若手農家どうしの交流の場所でもあります。



次回以降、収穫された野菜の行方、若手農家の活躍、魚住理事長の最新版「手づくりアイデア農具」が登場かも、等々の予定です。お楽しみに (^_^)

平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ② 2018/10



畑作業の喜びを感じた秋の収穫祭

10月20・21日「秋の収穫祭」が開催されました。天気に恵まれ2日間の来園者数は14860人でした。農業チームは園内販売用の野菜収穫作業と誰もが参加できる「サツマイモの収穫体験」1回20組×6回、「落花生の収穫体験」1回30組×3回、脱穀精米体験を担当し慌ただしい2日間でしたが、収穫体験中の参加者の笑顔に畑作業の喜びをひしひしと感じました。



9時開門の様子
サツマイモの収穫体験参加者に、「今朝何時から並ばれましたか?」と質問したところ、「朝6時半に並んだけれど4番目だった」……。思わず「すみません」とお答えしました。



「サツマイモの収穫体験」賑やかな畑です。



「脱穀精米体験」脱穀、精米の説明をする館野廣幸さん。 →



「落花生の収穫体験」落花生の栽培方法と食べ方を説明中の魚住道郎理事長。 ↑



魚住道郎理事長発案の苗床。網のカバーが苗を虫害から守ります。



畑の中にある「作業場所」
ここで1日の作業ミーティングをして、収穫した野菜の出荷作業をしています。収穫祭期間中は、修羅場状態でした。農業チーム、お疲れ様のひとコマです。



平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ③

2018年12月～2019年1月

本年もよろしく
お願いします



12月 お餅つき・つきたてお餅販売／1月 農業スタッフ交流新年会の報告

12月 都市農業公園プログラム、お餅つき、つきたてお餅販売が開催されました。

つきたてのお餅に、きなこや金ゴマをまぶせて販売をしました。

今回使用のもち米、きなこ用大豆、金ゴマはすべて都市農産です。(12/22の様子)



← 一般参加者がついたお餅は園内にお供えされる鏡餅になりました。

→ 農業スタッフのついたお餅はその場で成型し販売しました。農業アシスタントが大活躍。



1月 東京で初雪が観測された12日園内のボランティアルームで農業チームの交流新年会が行われました。

お好み焼きを焼く日有
研の魚住道郎理事長と
吉川直子理事。



米寿を迎えられた農業アシスタント
内田マキさんの華麗なる餅つき。
右端は最年少農業アシスタント農業
高校1年生の下山田峻人さん。



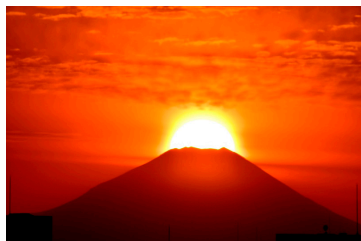
この時期は古民家前の春を待つ小麦を眺めながらの作業になります。
次回へつづく……。



2年間農業チームを担当され、お世話になった足立区都市農業公園スタッフ多々良良子さんの送別会でもありました。お好み焼きを焼きながらの賑やかな会になりました。

平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ④

(2019年1月～2月)



農業公園の荒川土手側入り口付近は年2回11月と1月にダイヤモンド富士が見られます。(1月19日撮影)

今回は収穫した都市農産野菜のその後を紹介します。

園内事務所前の「とれたてマルシェ」。毎日園内で収穫した野菜を販売しています。農業チームにかかわる生産者が持ち込んだ野菜も並ぶことがあります。固定の購入者が増えています。



園内の作業

この時期は若手と中堅生産者を中心に堆肥づくりの作業をしています。作業を通じて農作業に関する情報交換が行われています。これも畑作業の目的の一部です。



次回もお楽しみに♪

足立区内にも「子ども食堂」が多数あり、一部で都市農産野菜が利用されています。今回は筆者が関わっている地域食堂の様子です。提供された小松菜・玉ネギ・人参・長ネギをカレーと味噌汁の具材で使用しました。特に小松菜がおいしいと評判で嬉しかったです。



平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑤

(2019年4月)



年間来場者数 40 万人を 2 年連続で達成した足立区都市農業公園のもっとも賑わう桜の季節になりました。園内には約 50 種 290 本の桜があり、3 月下旬から 4 月下旬まで桜を楽しめる、お花見スポットです。

園内収穫の野菜が並ぶ「とれたてマルシェ」では農業アシスタント平良子さんが野菜の特徴と食べ方の説明をしながら接客対応をしています。



「ベテラン農家に学ぶ有機農業実践教室」

今年も稲作が始まりました



←もみ殻蒔き、苗代つくりを説明する館野廣幸理事。

昨年の台風で倒壊した「アケビ棚」を修復しました。棚づくりも百姓仕事と魚住道郎理事長。ベテランから若手へ技術を伝える貴重な場となりました。



畑作業にかかわる全員が参加。最後にアケビを棚に上げました。



年間来園者 40 万人

40 万人の方に有機農業の魅力を伝えるチャンスがあると自覚をして今後も畑作業を進めていきたいと思います。次回もお楽しみに。



田んぼのレンゲ草

平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑥

(2019年5月)



この時期は夏野菜の定植、田植え、梅の収穫等多様な作業が続きます。

小学生対象「田んぼでお米を作ってみよう」
プログラムの田植え

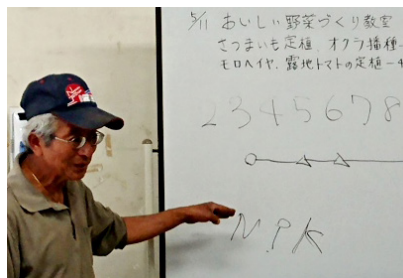


梅収穫中の小泉大和園長。
← 足立区都市農業公園



↑ 田植え作業を説明する館野廣幸理事。田んぼには子ども達の歓声！

一般対象「おいしい野菜づくり教室」
今回は林重孝理事の夏野菜定植方法の講義



次回も
お楽しみに♪

↑ 日頃の農作業成果を農業アシスタント達と第14回福島県二本松「猫の手」緑農で発揮してきました。中央は大内信一理事、その右は88歳で足立から参加された農業アシスタントの内田マキさん

筆者も9年前「野菜づくり教室」への参加をきっかけに、有機農業に魅了されました。有機農業の裾野を広げる良い機会だと思います。

平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑦

(2019年6月)



園内の紫陽花が色づく季節となりました。開催日程が決まっている有機農業実践教室、雨だからと中止にはなりません。雨だからこそ「道具づくり」教室の様子です。



竹の先端に加工したペットボトルを取り付け中の岡本明久副園長(左)と魚住道郎理事長。



← ペットボトル内のワイヤーに枝を絡めて梅を収穫、脚立不使用でも収穫ができます。



← 切り出した鉄アングルが底に取り付けてあります。



← ロープを通した「お助け舟」(除草器)。田んぼの中をすいすいと進み除草をします。名実ともに「お助け人」！眺めていても楽しい除草風景です。



→ 作業所内は、角材の切断音、古材から釘を抜く音、鉄アングルを切り出すグラインダー音で賑やかです。

アイデア次第で「農作業は楽しい」を
実践する農業チームの
報告を次回も
お楽しみに♪



平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑧

(2019年7月～8月)



稲の成長は早い！ 7月上旬は除草作業、8月中旬には花が咲き、
鳥害対策用のネット張り作業をしました。



田んぼと案山子

7月 田んぼの除草
自作除草機を持参の谷川拓也さん。↑→



8月 鳥害防止のネットを田んぼ全体に張ります。
この時期は高温のため、畑から収穫したスイカをいただき、体を冷やします。



←7月前期終了の「おいしい野菜作り教室」座学中の林重孝副理事長。
参加者から「本に、この作業方法は書いていない」と驚きが。後期も
参加したいとの感想が多い講座でした。



次号は秋～冬に向けて
の作業報告です。
お楽しみに～♪

平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑨

(2019年9月)



台風 15 号により被害に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げます。
園内の畑は背丈のある農作物は倒れましたが最小限の被害でした。



無事だった葡萄棚と巨峰。手入れをする林優希さん。



次号は圃場視察の
様子をレポート予定。
お楽しみに！



↑9月29日、賑やか
稲刈り。今年は稲刈
りのドローン撮影が
あり、来年、足立区
広報 YouTube「空カ
ラダチ」で紹介さ
れる予定。→作業中
の明石誠一さん(左)
と館野廣幸理事。

平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑩

(2019年10月～11月)

台風19号及び豪雨のお見舞いを申し上げます。
荒川のスーパー堤防の一部になる都市農業公園は北に新芝川、西に荒川の合流地点になります。台風通過の翌日10月13日河川敷の様子です。



空芯菜の花が咲きました。



川と水門が閉らじれた新芝川。



荒川の増水により沈んでしまった河川敷のコスモス畑。

10月16日

中国浙江省の農業関係者による視察がありました。
日本の有機農業の現状説明と意見交換をしました。→



↑畑で手づくり農道具の説明をする
魚住道郎理事長。コスモス畑。

有機農業実践教室の
受講者と里芋の収穫。→



次回は年の瀬と新年
の様子をお伝えしま
す。お楽しみに♪



11月
教室の
受講生
と麦の
播種。



平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑪

(2019年12月～2020年1月)



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

都市農業公園近くの横浜橋からの元旦ご来光

12月21、22日に餅つき体験を開催しました。2日間で3,126名の来園者があり、園内産の餅米を使用した餅つき体験は約100名が参加。つきたての餅に園内産大豆（八郷在来）のきなこをまぶして400名の方に提供しました。



餅つき体験は、参加者と見学者から合いの手と歓声上がり、年末らしい光景でした。



有機農業教室の受講生と、手づくりの道具で大豆の脱穀作業を行いました。



公園スタッフと若手農業者が中心となり、餅米を蒸かしてつき、提供用餅の成形は農業アシスタントが中心に作業を行いました。

2019年は台風による風水被害を身近に体験する年でした。畑作業を通じ、あらためて自然に生かされていることを実感しました。次回もお楽しみに。



餅つきの後、慰労会を開催し国際有機農業映画祭2019で初上映された福島第一原発事故から8年有機農家のその後「それでも種をまく～その後」を鑑賞しました。

12月2日16:30頃園内に、体長1m程のイノシシが出没する珍事がありました。幸い被害はなくイノシシは荒川河川敷に逃げました。残された足跡の石膏型。



平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑫

(2020年2月)



園内で生産された野菜が「東京都エコ農産物 100」に認定されました。



← 売り場に置かれた認定証と売り場に立つ平良子さん。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、園内のイベント中止が相次ぎました。農業者も毎日の体温測定を報告しながらの畑作業になりました。



魚住道郎理事長製作アイデア農具(ライン引きーライズマン、植え付けの穴あけーコロコロ1条)を使用してのジャガイモの植え付け。



2月22日 第1回ベテラン農家に学ぶ有機農業実践教室の修了式が開催され、魚住道郎理事長が見守るなか、若手農家清水隆大さんから受講者へ修了書が授与されました。受講者から「有機農業で本当に野菜生産ができるのか心配でしたが、この畑は魔法にかかっているようでビックリしました」との感想がありました。



循環型農業を極めるため、屋根の雨水をタンクに貯め、堆肥作りに利用することになりました。タンク設置場所をつくるための、土間コンクリート打ち作業をしました。枠を作り砂利石敷き作業。



砂利石を転圧した後、コンクリートの練混ぜをし、木枠へ流し込みをしました。
タンク置き場が完成。→



平島芳香の 足立区都市農業公園 PHOTO 日記 ⑬

(2020年3月) 3/7 感染予防をしながら作業をしました



都市農業公園も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月10日まで休園になりました。開園は今後の状況判断になりそうです。休園中も雨水貯水タンク置場づくりは継続されました。先月土間コンクリート打ちが終了した場所にタンク置場の小屋をつくりました。雨水貯水タンクは2.4 tの貯水ができエンジンポンプを使用し通常時は堆肥づくりに、災害時は生活用水に活用予定です。



支柱を建て小屋組みをしています。魚住道郎理事長と谷川拓也さん中心の作業でしたので急きょ「魚谷工務店」の誕生です。

杉板で屋根をふき



トタンを張り屋根部分は完成

防水シートを張り



完成！



雨どいを設置して

3月2日からの休園に伴い、収穫野菜の販売が園内でできなくなりました。販売場所がなくなり困っていたところ、有難いことに地域の方々に支えられ、現在足立区内数か所で野菜の販売ができるようになりました。次回はの様子をお伝えします。早く新型コロナウイルス感染が収束するように祈るしかない状況です。